

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月17日

協議会名: 甲府市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富士急バス株式会社	「上九一色・中道地区コミュニティバス線」 古関町～市立甲府病院経由～南甲府駅	<p>各種利用促進の取組については、住民が取組を認知し活用しているか、またその活用状況がコストの大きさに見合っているか、導入効果を検証するとともに、利用者増に向けて改善策を検討することが必要との評価結果があった。</p> <p>これに対しては、商品割引等のサービスをバス利用者が受けられる「バス利用お買い物手形実証事業」の継続実施をはじめ、利便性向上のためのバス停(中道交流センター)移設や上九一色地区居住者等向けに時刻表を全戸配布等を実施した。</p>	A 適切に実施された	C <p>・上九一色公共交通協議会において、高い努力目標として事業を遂行するべきとの判断の中で、①1回当たりの利用者数4.2人以上、②年間利用者数4,200人以上、③フィーダー系統の1回当たりの利用者数3.5人以上、④フィーダー系統の年間利用者数2,000人以上と位置づけていた。</p> <p>・実績としては、①は、3,28人、②は、3,530人、③は2,78人、④は、1,637人であった。コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用が減少してしまったことが主な原因と考えている。</p>	<p>・運行中のバス車内の換気など、適切な感染対策を講じていること等の周知を図ることにより、コミュニティバスの利用を促進する。</p> <p>・商品割引等のサービスをバス利用者が受けられる「バス利用お買い物手形」事業を継続できるよう調整する。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月17日

協議会名:	甲府市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	上九一色地区は、甲府市の南端の中山間地域(平成18年3月に旧上九一色村が南北に分村合併した際の北部地域)に位置し、唯一の公共交通機関であるコミュニティバスが、地区住民の通勤・通学・通院等の移動手段となっており、交通手段のない交通不便者にとって欠かせないものとなっている。